

令和6年度 第1学期始業式 式辞

おはようございます。

令和6年度も引き続き本校で、校長を務めることになりました。

本年度も、生徒の皆さん、そして先生方を、心から応援していく所存です。どうぞ昨年度同様、「自らに問う」という心構えをもって、日々を過ごしてください。よろしくお願いいたします。

まず、皆さんに連絡です。気づいた人もいるかもしれませんが、生徒昇降口左側の校舎壁面に、10mほどの縦長い看板があります。そこに次のようなメッセージが書かれています。「商の道、資格が私のジャンプ台」

第2グラウンドからは、はっきり見ることができます。今日の帰りにでも、確認してみてください。

今日は皆さんに、若商での過ごし方について、ひとつだけですが、助言、お願いをします。私は、普通科高校に長く勤務してきました。昨年度、はじめて商業高校に赴任しましたが、商業高校は、本当に魅力ある学校だと考えます。

その理由の一つに、多くの資格試験があげられます。職員室横の掲示板には、全商簿記実務検定、全商情報処理検定など、6つの資格試験の合格者の氏名または受験番号を掲示しています。その外にも、日商簿記検定などもあります。

私は、生徒の皆さんには、それらの資格試験に「積極的にチャレンジ」してほしいと考えます。

私の話で恐縮ですが、私は、小学校3年生から6年生まで、4年間、珠算、そろばんを習っていました。最初は楽しく、週2回の練習で、確実に級は上がっていきましたが、しかし、ある級から壁にぶつかりました。私は暗算ができない、頭の中のそろばんの玉が、すぐに消えてしまうのです。友人は、指を動かしながら4桁、5桁の暗算をやっているのですが、私の場合は2桁で消えてしまう。どう練習したらいいのか、本当にわかりませんでした。それでも何とか努力して、1年間かかりましたが6回目のチャレンジで、念願の級に合格することができました。そのことを当時担任の高岡先生に話しますと、次のように言ってくれました。「おめでとう。よかったね。努力するって、素晴らしいことだね」今でも覚えています。挑戦することで、その級の難しさを実感できましたし、達成したときは自信がつかしました。

さて、先ほども話しましたが、私は皆さんに、本校に用意されている資格試験に「積極的にチャレンジ」してほしいと考えます。資格取得のためだけではありません。合格に向けチャレンジ、努力することは、必ず「気力・根性」という素晴らしいものが手に入ります。悔しい思いをすることもあるかもしれませんが、あきらめずに挑戦し、その先にある合格の喜び、それを味わっていただきたいと思います。そして、その喜びはきっと、皆さんの自信、自分を信じる力につながります。どうぞ資格試験に「積極的にチャレンジする」姿勢をもって、本校で過ごしてほしいと思います。

以上、資格試験に「積極的にチャレンジする」ことを皆さんにお願いしまして、令和6年度1学期始業式の式辞といたします。